

## (働き方改革で生産性を向上するモデルー2)

**廃校再生ふるさとサテライト・オフィスプロジェクト  
(山形県高畠町)**

**【事業概要】**

山形県高畠町は、県南部に位置する人口約24,000人の町です。児童減少の影響を受け、学校施設の統廃合などによる公共施設の遊休化が課題となる中、平成22年3月をもって廃校となった、「旧高畠町立時沢小学校」の廃校舎を利活用した廃校再生プロジェクトが「熱中小学校」です。

「もう一度7歳の目で世界を…」をキャッチフレーズに、首都圏等の企業経営者や大学の研究者など第一線で活躍する「先生」が、廃校舎で様々な教科の授業を行う「大人の社会塾」を行うプロジェクトで、地域課題を解決する人材育成を目的としています。ちなみに「熱中小学校」という名称は、昭和50年代中頃テレビ放映され、人気を博したドラマ「熱中時代」のロケ地として当時の時沢小学校が使用されたことに由来しています。

「熱中小学校」には、2階の教室だった部屋をリノベートしたサテライトオフィスが設置されています。このサテライトオフィスを活用した「廃校再生ふるさとサテライト・オフィスプロジェクト」事業が、平成27年度に総務省の「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」の委託事業として採択を受けました。これは町と民間事業者3社に加えて、熱中小学校を運営するNPO法人が協働で、ICT機器を活用して様々な地域実証を行ったものです。

**【コラム】****(1) 事業のイメージ図**

### (2) 事業の内容及び効果・成果

地域実証事業として、以下の3つの実証を行いました。

#### ① 中山間部のサテライトオフィスにおける勤怠管理システムの実証

TV会議システムやタブレット端末を使用した入退室管理システム等を活用して、サテライトオフィスと本社オフィスをシームレスにつなぐ勤怠管理システムについて実証を行いました。テレワーク勤務者が一方的に「見張られている」精神的負担を軽減し、作業能率を高められるテレワーク環境の構築を目指しました。

#### ② 在宅型分散クラウド入力サービスの実証

熱中小学校のサテライトオフィスを拠点として、クラウドソーシング基盤を利用した在宅型入力システムを開発実証しました。高度な技術を有しない方でも作業可能な入力システムであり、地方での新たな雇用の創出を目的に、地域住民向けの説明会等も実施しました。事業を実施したIT関連企業の職員は、実際に高畠町へ移住したうえで事業に取組み、実証期間が終了した現在もサテライトオフィスに常駐勤務しています。

#### ③ 高齢者のマネージメント支援システムの実証

社外取締役・顧問・コンサル契約者等といった、高度な能力を持った退職世代の高齢者が地方で仕事を行うまでの支援システムを構築するため、TV会議システムを使用してサテライトオフィスから首都圏の企業の取締役会や監査役会へ参加する実証を行いました。

上記実証に加えて、地方へ移住するテレワーカーの生活の利便性を確保するための「生活直結サービス」として、離れて暮らす両親の自宅にスマートフォンと連動して使用できる通信型カメラを設置し、Wi-Fi環境なしで状況把握ができる見守りシステムを構築し、テレワーカーに提供しました。

また、熱中小学校の「大人の社会塾」をテレワーカーにも体験してもらい、文化・教養を深めることに加えて、受講する地域の人々や都市部の企業人との交流の場づくりを行いました。



▲サテライトオフィス内の様子



▲「熱中小学校」授業風景

### 〔今後の課題と展開〕

「熱中小学校」では独自のブランド展開として、様々な町内の特産品などを取り扱うECサイトを構築予定で、このサイトでは通信販売に加えて町の地域情報・移住情報などの情報発信も行い、全国へ高畠町の魅力を発信するツールとして活用される予定です。

さらに、「熱中小学校」の横展開として、福島県会津若松市の「會津熱中塾」、東京都八丈町の「八丈島熱中小学校」、富山県高岡市の「高岡熱中寺子屋」といった「姉妹校」が開校し、全国的な広がりを見せてています。29年度開校予定のものも含めると、高畠町の他に全国6カ所の「姉妹校」があり、その中で高畠町と同様に廃校舎を利活用しているものについては、今般の事業で培ったノウハウの応用が期待できます。

### 〔問い合わせ先〕

- ・団体 山形県高畠町  
〒992-0392  
山形県東置賜郡高畠町大字高畠436番地
- ・担当部署名：企画財政課
- ・電話番号／FAX番号：0238-52-1112（直通）／0238-52-1543
- ・e-mail：kikaku@town.takahata.yamagata.jp